

東京都立府中療育センター 第37回地域療育講習会アンケート結果 「障害児者の食べることをサポートする～発達と加齢による変化を踏まえて～」

令和7年9月26日(金)午後2時から4時まで

【 聴講申し込み数について 】

	施設数	人数	web申し込み件数
総数)		109 人	77 件
内訳) 地域施設従事者	41 所	86 人	54 件
ご家族		3 人	3 件
府中療育センター従事者	1 所	20 人	20 件

* 地域施設従事者については、個人ごとに申し込まれた施設と、1件の申し込みで複数人で聴講される施設がありました。

* 府中療育センター従事者については、20人が個人ごとで申し込みWebで聴講し、登壇者や実行委員 21人は申し込みせず会場で聴講しました。

【 アンケート回収件数について 】

	件数	回収率	母数(web申し込み件数)
総数)	38 件	49. 3%	77 件
内訳) 地域施設従事者・ご家族	24 件	42. 1%	57 件
府中療育センター従事者	14 件	70. 0%	20 件

1 この講習会を何で知りましたか？

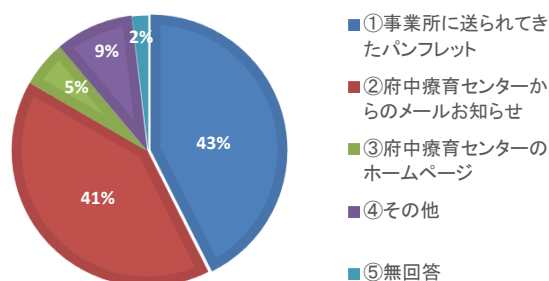
＜地域施設従事者のみ＞

該当項目	件数
①事業所に送られてきたパンフレット	23
②府中療育センターからのメールお知らせ	22
③府中療育センターのホームページ	3
④その他	5
⑤無回答	1
合計（地域施設従事者Web申し込み件数）	54

④その他・・・事業所内の他部署からの情報 5件

この講習会を何で知りましたか？

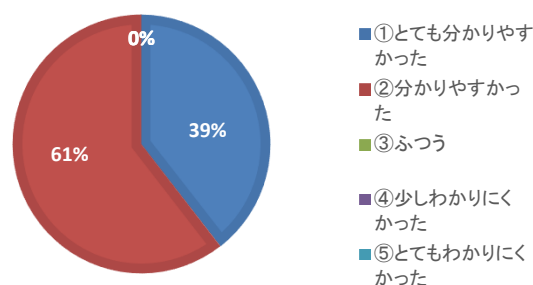
＜地域施設従事者のみ＞



2 講義の分かりやすさについて

該当項目	件数
①とても分かりやすかった	15
②分かりやすかった	23
③ふつう	0
④少しわかりにくかった	0
⑤とてもわかりにくかった	0
合計（アンケート回収件数）	38

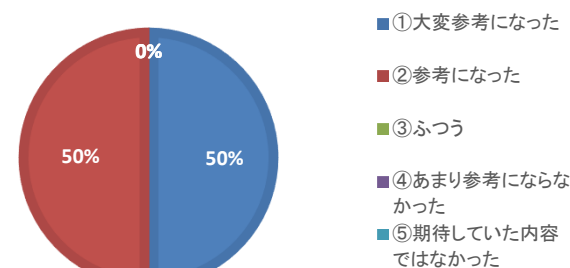
講義のわかりやすさについて



3 講義の内容について

該当項目	件数
①大変参考になった	19
②参考になった	19
③ふつう	0
④あまり参考にならなかった	0
⑤期待していた内容ではなかった	0
合計（アンケート回収件数）	38

講義の内容について

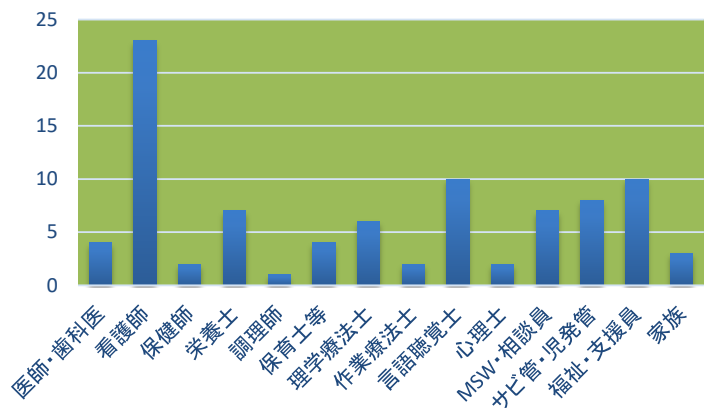


4 参加された方の職種等について

＜地域施設従事者・ご家族のみ＞

該当項目	人数
医師・歯科医	4
看護師	23
保健師	2
栄養士	7
調理師	1
保育士等	4
理学療法士	6
作業療法士	2
言語聴覚士	10
心理士	2
MSW・相談員	7
サビ管・児発管	8
福祉・支援員	10
家族	3
合計（地域施設従事者・ご家族人数）	89

参加された方の職種等について ＜地域施設従事者・ご家族のみ＞

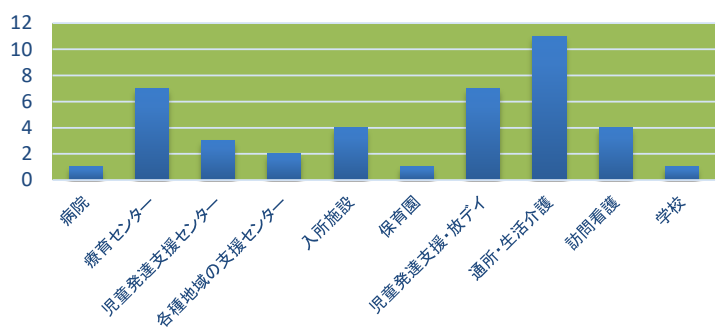


5 お申し込み施設について

＜地域施設のみ＞

該当項目	件数
病院	1
療育センター	7
児童発達支援センター	3
各種地域の支援センター	2
入所施設	4
保育園	1
児童発達支援・放デイ	7
通所・生活介護	11
訪問看護	4
学校	1
合計（地域聴講申し込み事業者数）	41

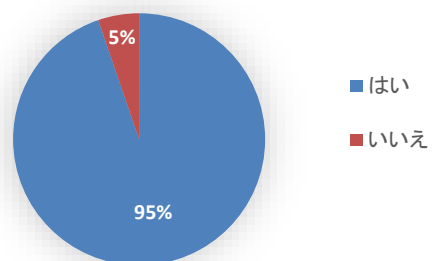
お申し込み施設について ＜地域施設のみ＞



6 ご意見等を無記名で、当センターホームページにアンケート集計結果として掲載してもよろしいでしょうか？

	件数
はい	36
いいえ	2
合計	38

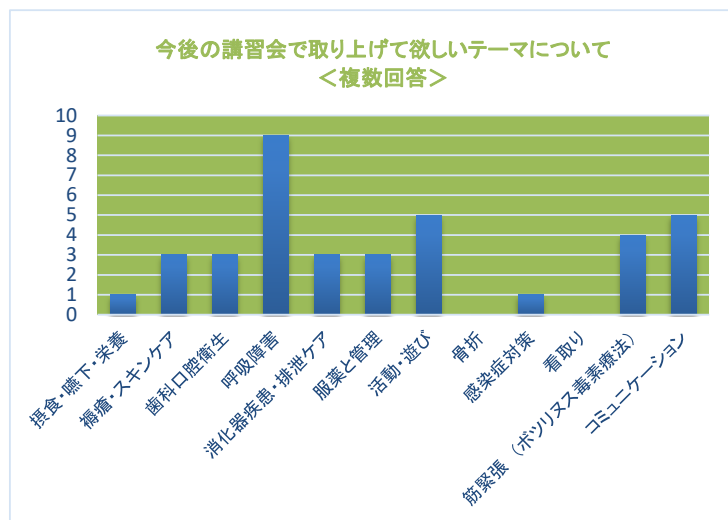
ホームページの掲載について



7 今後の講習で取り上げて欲しいテーマについて

<複数回答>

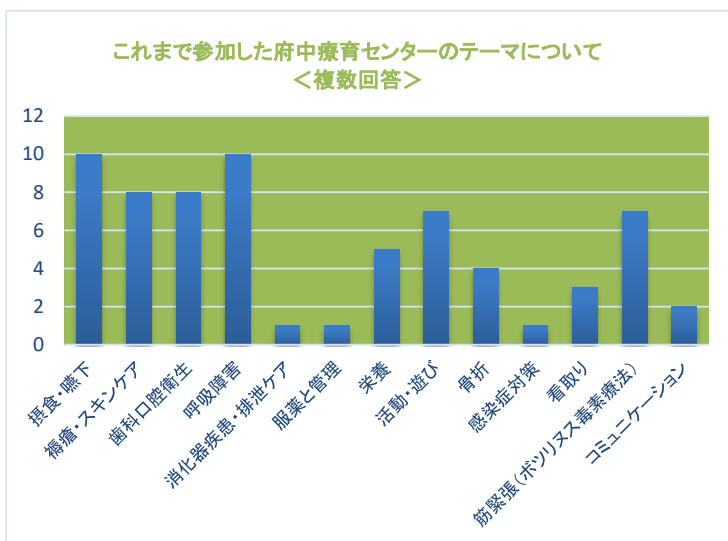
テーマ	延べ人数
摂食・嚥下・栄養	1
褥瘡・スキンケア	3
歯科口腔衛生	3
呼吸障害	9
消化器疾患・排泄ケア	3
服薬と管理	3
活動・遊び	5
骨折	0
感染症対策	1
看取り	0
筋緊張（ボツリヌス毒素療法）	4
コミュニケーション	5
合計	37



8 これまでに参加した府中療育センターの講習会のテーマについて

<複数回答>

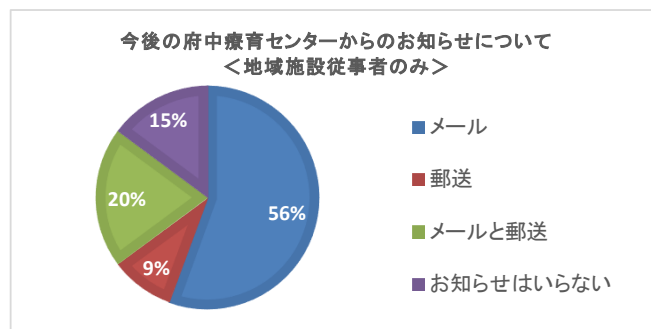
該当項目	件数
摂食・嚥下	10
褥瘡・スキンケア	8
歯科口腔衛生	8
呼吸障害	10
消化器疾患・排泄ケア	1
服薬と管理	1
栄養	5
活動・遊び	7
骨折	4
感染症対策	1
看取り	3
筋緊張（ボツリヌス毒素療法）	7
コミュニケーション	2
合計（複数回答）	67



9 今後の府中療育センターからの講習会お知らせについて

<地域施設従事者のみ>

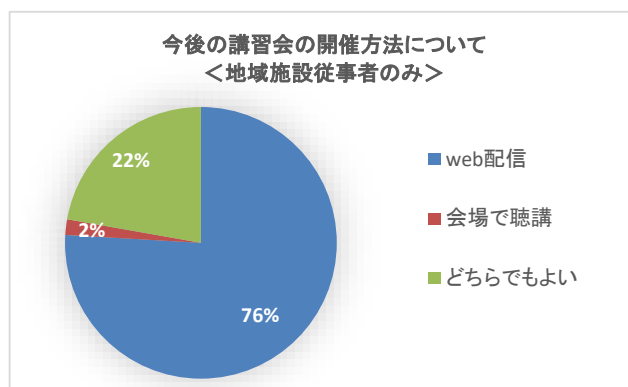
テーマ	件数
メール	30
郵送	5
メールと郵送	11
お知らせは知らない	8
合計（地域聴講web申し込み件数）	54



10 今後の講習会の開催方法について

<地域施設従事者のみ>

テーマ	件数
web配信	41
会場で聴講	1
どちらでもよい	12
合計（地域聴講web申し込み件数）	54



11 ご意見 ご感想（15件）

*当センターのホームページ掲載にご了解いただいたもののみ、文字等の修正は行わず原文のまま到達順に記載しています。

- マイクのハウリング？は、以前もあったと記憶しています。改善は難しそうですね。
- 摂食指導にかかわる職員として、多角的な視点が必要であることがよくわかりました。その多角的な視点が、ケースごとに異なっていることが多く、支援者としては非常に評価・指導が難しくなるのですが、ご本人の現状を正しく評価できるように多職種で情報を共有しながらチームで今後も対応していきたいと思います。
- 業務の関係で途中からの参加になってしまい、申し訳ありませんでした。途中からでしたがポジショニングや車いすによって良い結果が出るのが凄いと感心しました。ありがとうございます。
- 重症心身障害児者が、安全で美味しく、食事を食べることができるようになるためには、様々な工夫が必要であることを改めて学ぶことができた。利用者によりそい、多職種で取り組む体制を今後も続けていくことが当センターでも重要であると思う。
- さまざまな視点からのお話、ありがとうございました。府中療育センターではご本人のモチベーションを重視しているということを、先生方のお話を通して感じることができました。
- 食支援において、多職種での連携や工夫を詳しく知ることができてよかったです。
- 摂食の様子など動画でみられて理解しやすかった。ただ、後日振り返りをすると参考できないのは残念。
- お忙しい中、講習会を準備してくださりありがとうございました。
重心児者の摂食嚥下という難しいイメージのテーマでしたが、どの講義も難しいことも分かりやすく説明があり、また資料もあり、後で見返すことができ、利用者支援の質の向上につながると考えます。普段はなかなか利用者の食事風景を見ることがないので、非常に良い機会になり、利用者の皆様がされている普段の生活への理解が深まりました。自分の職種では利用者はどうアプローチできるか考えていきたいです。ありがとうございました。次回も楽しみにしております。
- 食事は人間の基本であり生活の質の面でも大変重要なことと思う。多職種の方々が科学的に専門性を発揮しながら、利用者の方が楽しく食事ができることを共通の目標に連携されている様子がよくわかった

通園の幼少のお子様を担当していますが、食事の形態で6Feチューブでも通る様にされている点、お粥に酵素を混ぜる事で食べやすい形態にされている点はとても興味深く感じました。
- また、病棟と通園と別の...とありましたがそこは羨しかったです。
今後も、今日の講義を参考に、日々の介助に努めて行きたいです。
素晴らしい講義をありがとうございました。
- 食べるためにチームでご苦労されていることを知りませんでした。ありがとうございます。
食べることはたのしいと思ってもらえるといいなあと思います。
わかりやすい言葉や速さでできやすかったです。あつという間の2時間でした。
関係者の皆様、お疲れさまでした。ありがとうございました。
- 大変勉強になり、実際の現場で再度摂食状況の確認や、受講できなかったスタッフへこちらの内容を共有させていただきたいと思いました。
座学だけではなく、実技指導も実際の現場に来て開催していただけたらと思いました。
- とても分かりやすい研修を開いて下さりありがとうございました。この研修を通してたくさんの学びを得てこれからの仕事に生かしていきたいです。
- とてもいい内容でした。渥美先生の講義はもう少しだけゆっくり聞けるとうれしかったです。
- 渥美先生の講義は、摂食障害という見方のなかで、ライフステージに沿ったフォローの重要性を再確認出来てよかった。特に幼少期のアプローチはその後に影響するため非常に重要であることを教えていただいて、とてもよかったと思う。